

この様式（様式第1）を使う場合  
・有効期限切れにより新規に登録し直す場合…自分で自分を証明する（1）。  
・社内の別の電気工事士を主任電気工事士にする場合（2）（3）  
それ以外は他社による証明（様式第2）を使用すること。

様式第1

## 主任電気工事士等実務経験証明書

（1）登録申請者本人  
（2）登録申請者の役員  
（3）登録申請者の使用人  
下記1の電気工事士は、  
下記2のとおり電気工事に従事していることに相違ありません。

令和 6年 4月 1日

福岡県知事 殿

登録申請者 氏名又は名称 (株)〇〇テック 印

個人登録の場合は、個人の私印 ↓

法人にあっては 代表取締役 福岡 四郎 印

原則、丸印。取得が難しい場合は角印でも可 ↓

登録（届出）番号 福岡県知事登録（届出）第 〇〇〇〇〇 号

（他の都道府県知事又は経済産業大臣への登録又は届出の場合はその番号）  
記

1 電 気 工 事 士	電気工事士の氏名	工業 次郎
	生年月日・年齢	昭和47年 10月 2日 52才
	現住所	福岡市東区箱崎1-18-1
	電気工事士免状の種類及び交付年月日	第 2 種電気工事士免状 令和1年 4月 4日
	免状交付番号	福岡 第 〇〇〇〇〇 号
2 電気工事士が登録申請者の行う電気工事に従事した職歴		
所属名	期 間	業 務 の 内 容
・電気工事士免状取得以降の期間であること ・証明者の工事登録期間内（5年）であること	2019年 6月 6日 ~ 2022年 11月 30日 ↑期間が3年以上あること	【期限切れによる自分証明の場合】 ・「主任電気工事士として業務を行う」でよい。
	証明者の営業所が1か所の場合は所属名は記載不要	・主任電気工事士として業務を行う 【自社社員の証明を行う場合】 ①具体的な件名（3件程度） 又は、決まった仕事を繰り返し行っているときは ②種類ごとに件数を記載 (パターン①) ・〇〇邸 電気工事 ・××邸 電気工事 ・△△店 屋内照明工事 他 15件 (パターン②) ・戸建住戸 屋内配線工事 21件 ・店舗付住宅 屋内照明工事 20件 ・コンビニ 屋内配線工事 2件

(記載注意)

- この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- この証明書は、被証明者1人につき作成すること。
- (1)登録申請者本人 (2)登録申請者の役員 (3)登録申請者の使用人については、該当するものを○で囲むこと。
- 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というように具体的に記入すること。
- 業務の内容は、〇〇施設の屋内配線工事の施工業務等を具体的に記入すること。  
なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。
- 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。